

議会だより

あ い か わ

第 123 号

責任者 議会議長 森川絹枝
年4回発行・本号20ページ



県立愛川ふれあいの村

平成21年12月15日

<9月定例会・11月第2回臨時会>

「義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画
早期策定を求める意見書」を送付

議会役職人事改選！

平成20年度決算を認定 Ⅱ各常任委員会で活発な審査
歳出総額7会計226億3千942万円

P 15

P 6・7

P 4・5

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

提出議案20件可決

平成21年第3回愛川町議会「9月定例会」は、9月1日に開会され、会期25日間（本会議開催日5日間）にわたり開かれました。
この定例会では、平成20年度各会計決算の認定をはじめ、教育委員会委員の任命、条例の一部改正や補正予算、工事請負契約の締結、町道路線の廃止・認定など、合計20件の町長提出議案を可決・認定しました。
さらに、議員提出議案として、「義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書」を可決し、関係行政庁に提出しました。



平成21年第3回定例会日程

| 月 | 日 | 曜 | 会 議 名 | 主 な 内 容 |
|---|----|---|-----------|---|
| 9 | 1 | 火 | 本 会 議 | 教育委員会委員の任命の採決 町長提出議案の説明 |
| | 3 | 木 | 本 会 議 | 一般質問（6人） |
| | 4 | 金 | 本 会 議 | 一般質問（5人） |
| | 8 | 火 | 本 会 議 | 補正予算・事件関係議案の総括質疑・討論・採決 20年度決算等の会派代表総括質疑、委員会分割付託の決定 |
| | 10 | 木 | 総務建設常任委員会 | 付託案件の審査 |
| | 11 | 金 | 教育民生常任委員会 | 付託案件の審査 |
| | 15 | 火 | 総務建設常任委員会 | 付託案件の審査 |
| | 16 | 水 | 教育民生常任委員会 | 付託案件の審査 |
| | 24 | 木 | 本 会 議 | 付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・質疑討論・採決 |

平成21年第2回臨時会日程

| 月 | 日 | 曜 | 会 議 名 | 主 な 内 容 |
|----|----|---|-------|---|
| 11 | 12 | 木 | 本 会 議 | 常任委員会委員の選任 議会運営委員会委員の選任 議会だより編集委員会委員の選任 |

条例関係

◎愛川町国民健康保険条例の一部改正

（賛成全員）

ポイント⇨出産に係る被保険者等の経済的負担を軽減し、安心して出産できるようにするため、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、出産育児一時金を38万円から42万円に引き上げる改正を行ったものです。

施行期日は10月1日

◎愛川町消防団員等公務

災害補償条例の一部改正

（賛成全員）

ポイント⇨消防法の一部改正に伴い、本条例で引用している同法の条項に移動があったため、所要の条文の整理を行ったものです。

施行期日は10月30日

人 事

◎人権擁護委員候補者の推薦に係る意見

ポイント⇨現在、人権擁護委員である諏訪部勲氏並びに鈴木忠雄氏両名が本年12月31日をもって任

期満了となることから、人権擁護委員法の規定により、次の方を適任と認めました。
愛川町三増在任 小林 利彦 氏
同 中津在任 梅澤 哲夫 氏
◎教育委員会委員の任命について
（賛成全員）
ポイント⇨現教育委員会委員の岡本弘之氏（中津在任）が平成21年11月14日をもって任期満了となりましたが、引き続き同氏を任命することに同意しました。

9月

定例会

また、現教育委員会委員の三好容子氏（三増在任）が平成21年11月14日をもって任期満了となることから新たに、次の方を任命することに同意しました。
愛川町中津在任 平田 明美 氏

工事請負契約締結

◎弊山下平線第2工区道路改良工事
（賛成15人・反対2人）
請負契約金額 7千140万円

工事場所 半原地内

請負契約の相手方 株式会社星建設
工期は平成22年3月26日まで

◎公共下水道野尻排水区

工事場所 中津・八菅山地区

請負契約の相手方 成井土建株式会社
工期は平成22年3月25日まで

◎公共下水道（汚H30・整備工事）
（賛成全員）
請負契約の相手方 佐藤建設株式会社
工期は平成22年3月15日まで

工事場所 半原地内

請負契約金額 7千770万円

◎町道路線の廃止・認定
（賛成全員）

事件議案

◎町道路線の廃止・認定
（賛成全員）

請負契約の相手方 株式会社星建設
工期は平成22年3月26日まで

工事場所 半原地内

請負契約金額 7千140万円

専決処分

◎専決処分の承認（平成21年度愛川町一般会計補正予算第2号）

（賛成全員）

ポイント⇨今回の補正は歳入歳出にそれぞれ7千853万7千円を追加し歳入歳出予算の総額を125億9千427万9千円としたものです。

内容は、本年6月末に法人町民税の確定申告を行った法人のうち、前年度に予定納税した51社において還付金及び還付加算金合わせて7千853万7千円の還付が発生し還付に当たり、過年度歳入償還金として歳出予算から支出するため、予算に不足を来すことから補正予算を編成する必要が生じたものであり、還付の時期が遅れると還付期日までの日数に応じた還付加算金が増加することから専決処分をしたものです。

補正予算

◎平成21年度一般会計補正予算（第3号）

（賛成15人・反対2人）

ポイント⇨今回の補正は歳入歳出にそれぞれ2億2千454万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を128億1千882万円としたものです。

主な内容は、公共施設地上デジタル放送対応整備事業、子育て応援特別手当支給事業、緊急雇用創出特別対策資源ごみ分別作業経費、学校情報通信技術環境整備事業、理科教育設備備品購入事業の経費に係るものです。

◎平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

◎平成21年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

（以上、賛成全員）

一般会計補正予算（第3号）の内容

| 歳入 | (千円) | |
|----------|---------|--|
| 事業 | 金額 | 内容 |
| 民生費国庫負担金 | 21,842 | 障害者医療費負担金増額 3,861 障害福祉サービス費等負担金増額 17,981 |
| 民生費国庫補助金 | ※40,831 | 子育て応援特別手当交付金 |
| 衛生費国庫補助金 | 6,050 | 女性特有のがん検診推進事業費補助金 |
| 教育費国庫補助金 | 40,124 | 学校情報通信技術環境整備事業費補助金 35,481 理科教育設備整備費補助金増額(小学校) 2,904 〃(中学校) 1,739 |
| 交付金 | 78,296 | 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 76,260 安全・安心な学校づくり交付金 2,036 |
| 民生費県負担金 | 10,920 | 自立支援医療費負担金増額 1,930 障害福祉サービス費等負担金増額 8,990 |
| 総務費県補助金 | 1,020 | 消費者行政活性化事業費補助金 |
| 商工費県補助金 | 1,280 | 緊急雇用創出事業臨時特別基金事業費補助金増額 |
| 総務費委託金 | 11,459 | 参議院神奈川県選出議員補欠選挙費委託金 |
| 繰越金 | 12,719 | 前年度繰越金増額 |
| 合計 | 224,541 | |

| 歳出 | (千円) | |
|-----------------|---------|--|
| 事業 | 金額 | 内容 |
| 財産管理費 | 10,611 | 公共施設地上デジタル放送対応整備事業費 |
| 消費生活対策費 | 1,020 | 2号相談室改修事業費 |
| 町長選挙費 | ▲6,991 | 職員給与費減額 ▲3,088 町長選挙経費減額 ▲3,903 |
| 参議院神奈川県選出議員補欠選挙 | 11,459 | 職員給与費 3,920 参議院神奈川県選出議員補欠選挙経費 7,539 |
| 障害福祉費 | 46,270 | 障害者生活ホーム家賃助成事業費増額 413 自立支援医療費給付事業費増額 7,723 障害者介護給付・訓練等給付事業費増額 38,134 |
| 児童福祉総務費 | ※40,831 | 職員給与費増額 453 子育て応援特別手当支給費 38,376 子育て応援特別手当支給事務費 2,002 |
| 保育所費 | 25,170 | 保育園調理室エアコン設置工事費 |
| 予防費 | 4,550 | 女性特有のがん検診推進事業費増額 |
| 塵芥処理費 | 1,280 | 緊急雇用創出特別対策資源ごみ分別作業経費 |
| 農業振興費 | 1,334 | 近代化施設整備事業費補助金増額 |
| 学校ICT推進費 | 80,974 | 学校情報通信技術環境整備事業費 |
| 教育振興費 | 8,033 | 理科教育設備備品購入事業費増額(小学校) 5,139 〃(中学校) 2,894 |
| 合計 | 224,541 | |

※国の補正予算の見直しにより執行停止

20年度各会計決算を認定

◎一般会計歳入歳出決算の認定

(賛成15人・反対2人)

◎国民健康保険特別会計

歳入歳出決算の認定

(賛成15人・反対2人)

◎後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算の認定

(賛成14人・反対3人)

◎老人保健特別会計歳入

歳出決算の認定

◎介護保険特別会計歳入

歳出決算の認定

◎下水道事業特別会計歳

入歳出決算の認定

◎水道事業会計決算の認

定

(以上、賛成全員)

※議長は除く。

ポイントⅡ議会は、一

計年度の歳入歳出決算に

ついて、その内容を審議

しなければなりません。

これは、予算が当該年

度の歳入歳出についての

予定的見積りであり、必

ずしも当初の予測そのま

まに運営されるものでは

ないため、具体的な事業

内容や執行の実績・結果

について、執行機関が議

会の審議に付するもので

議会の監視により町の財

政運営の適正化を図って

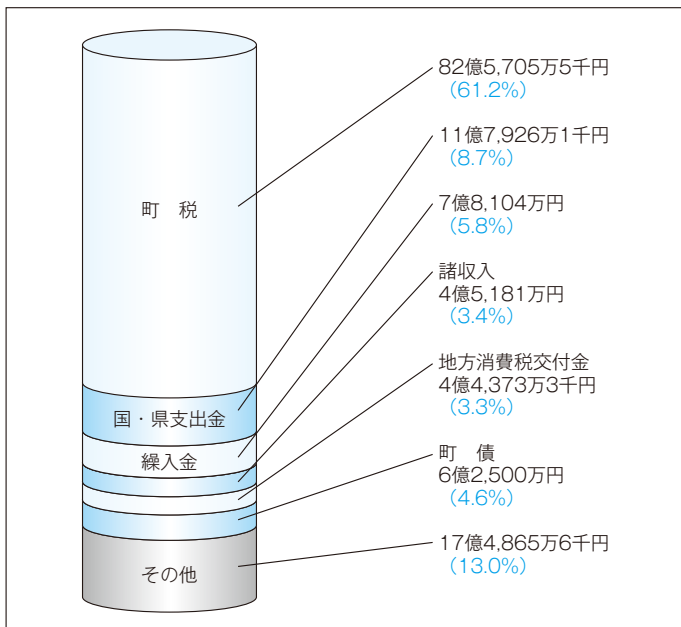
います。



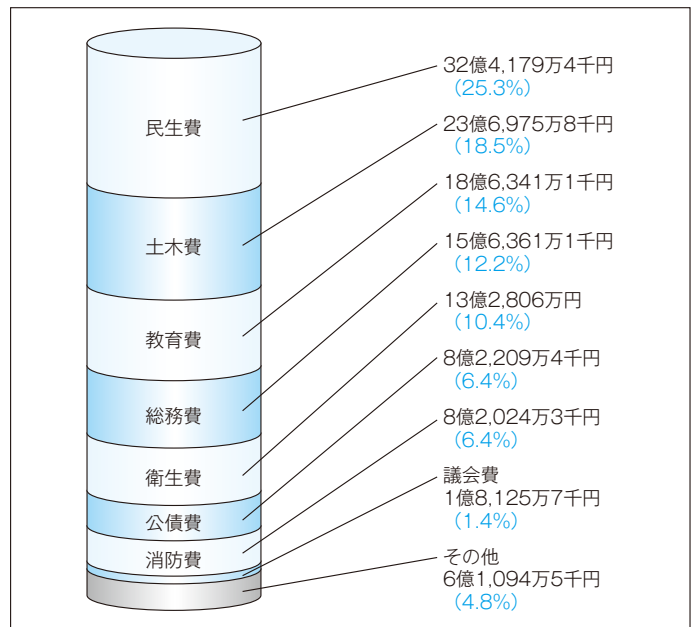
平成20年度各会計決算額

| 会 計 | | 歳 入 | 歳 出 |
|---------|-------|---------------|--------------|
| 一 般 会 計 | | 134億8,655万5千円 | 128億 117万3千円 |
| 特別会計 | 国 保 | 50億4,293万4千円 | 49億9,562万6千円 |
| | 後期高齢者 | 2億4,331万3千円 | 2億4,331万3千円 |
| | 老人保健 | 2億 924万6千円 | 2億 573万9千円 |
| | 介護保険 | 15億 333万3千円 | 14億6,086万7千円 |
| | 下 水 道 | 20億9,402万2千円 | 20億8,201万4千円 |
| 企業会計 | 水 道 | 6億6,596万3千円 | 8億5,068万8千円 |
| 合 計 | | 232億4,536万6千円 | 226億 3,942万円 |

一般会計歳入構成



一般会計歳出目的別構成



常任委員会での主な質疑要旨

総務建設常任委員会

問 庁舎でのエコ対策の具体例とその成果について

答 あいかわエコアクシヨンプランに基づく、環境負荷の低減に向けた主な取り組みとして、毎週水曜日のノー残業デーの実施、不要な蛍光灯の取り外し、冷暖房の適正な温度管理による運転、昼休み時間の事務室内の消灯や不要な照明などのこまめな消灯、エレベーターの利用自粛、公用車両の洗車時におけるバケツ利用、手洗い時の節水、

職員の意識啓発などを行っている。

その成果について平成19年度対比で申し上げますと、水道使用量が335mの削減、電気使用量が2万970キロワットの削減、微減ではありませんがプロパンガス使用量が2.3mの削減となっております。

問 防災備蓄用食糧購入費について

答 災害時のための食糧の備蓄については、町の地域防災計画で定めているもので、本町に最も大きな被害を及ぼすであろうと予想されている「神

繩（かななわ）・国府津―松田断層帯地震」の罹災者を4,000人と想定し、1日3食分に当たる1万2,000食の整備を目標として計画的に備蓄をしています。

平成20年度では、アルファ米と乾パンの更新分として、アルファ米を2,100食、乾パンについては、高齢者や幼児などにも食べやすい缶入りのパンに変更し、312食を購入したもので、充足率は100%となっております。

また、乳幼児への提供用として、対アレルギーを含めた粉ミルクを計画的に備蓄することとし、平成20年度では19缶を購入しています。

問 観光トイレ清掃経費の内容について

答 本経費は、河川遊客やハイカーの利便性の向上を図るため、町内の特に観光客の多い河川敷や登山道、ハイキングコース、観光施設等に観光ト

イレを設置したことに伴う清掃等の維持管理経費です。

観光トイレは、簡易移動式トイレ26基、固定式トイレ5基の合計31基を23箇所に設置しており、業者委託により1基につき4回、年間で48回の清掃を行ったもので、委託単価は規模や設置形態により異なりますが、1基につき1回2,000円から3,700円までとなっております。

また、固定式観光トイレの浄化槽の保守管理を年2回実施し、施設の維持管理に努めました。

なお、観光シーズンなどの利用状況によっては、清掃日の調整や町職員が直接対応するなど、衛生的かつ快適な利用が出来るよう努めています。



田代小学校プール改修工事を調査

教育民生常任委員会

問 消費生活相談180件の中で、悪質な内容の相談件数について

答 平成20年度の消費者生活相談の中で、悪質な相談内容の件数は、消費者金融等の取り立てや過払い利息の返還など金融関係が43件、身に覚えのない架空請求やオークションでのトラブル、携帯電話などの通信サービスに関するものが24件です。

問 チャイルドシート事業の直近3年間の利用者数について

答 チャイルドシート事業における直近3年間の利用者数は、平成18年度

が131人、平成19年度が144人、平成20年度が160人です。

問 スポーツ施設予約システム管理経費予約方法における3市町村の違いについて

答 3市町村の予約システムでの違いは2点あり、1点目は予約システムの抽選申し込みが、厚木市と清川村は7回、本町は4回です。



内陸工業団地内歩道整備工事を調査



2点目は、本町の施設を無断でキャンセルした場合には半年間、町の施設予約が出来なくなるというペナルティーがあります。

人事決定

第2回 臨時会

(◎印は委員長
○印は副委員長)



鈴木 一之 副議長



森川 絹枝 議長

会、常任委員会など

議会運営委員会



馬場 司



林 茂



○井出 一己



◎小倉 英嗣



近藤 幸子



小林 敬子



山中 正樹



鳥羽 清



渡辺 基

議長に森川絹枝氏

副議長に鈴木一之氏

11月12日(木)に、平成21年第2回愛川町議会臨時会が開かれました。この臨時会では、役職の改選に伴い、正副議長をはじめ、議会運営委員会、各常任委員会、議会選出監査委員の選任などが行われました。また、町長諮問機関等の役職選出も行われました。

総務建設常任委員会



小倉 英嗣



成瀬 和治



○熊坂 弘久



◎馬場 司



井上 博明



林 茂



熊坂 徹



小島総一郎



森川 絹枝

(敬称略)

会派構成 (◎は代表者)

| | | |
|-----------------|-----------------------|---------------------|
| あいかわ クラブ | ◎馬場 司 中山民子 成瀬和治 | 林 茂 鈴木一之 渡辺 基 |
| 愛政クラブ | ◎熊澤俊治 小倉英嗣 | 鳥羽 清 熊坂弘久 |
| あすか | ◎山中正樹 | 小島総一郎 |
| 日本共産党 愛川町議員団 | ◎井上博明 | 小林敬子 |
| 民主みらい | ◎近藤幸子 | 熊坂 徹 |
| 公明党 | ◎井出一己 | 森川絹枝 |

監査委員は職見を有する者と議会議員で構成されています。
議会選出の監査委員

監査委員



鳥羽 清 監査委員

に、鳥羽議員を選任することにより、賛成議案が提出され、賛成全員で同意されました。

議会役職

正副議長、議会運営委員会

教育民生常任委員会



近藤 幸子 井出 一己 ○渡辺 基 ◎山中 正樹



小林 敬子 熊澤 俊治 鳥羽 清 中山 民子 鈴木 一之

議会だより編集委員会



馬場 司 渡辺 基 ○井出 一己 ◎熊坂 弘久



井上 博明 熊澤 俊治 熊坂 徹 小島総一郎 成瀬 和治

議会改革検討委員会

- 委員 山中 正樹
 - 委員 近藤 幸子
 - 委員 林 茂
 - 委員 馬場 司
 - 委員 渡辺 基
 - 委員 鳥羽 清
 - 委員 小倉 英嗣
 - 委員 小林 敬子
 - 委員 井出 一己
- ※正副委員長は次回の会議で決定します。

市町村研究会

- 委員 熊澤 俊治
 - 委員 熊坂 徹
 - 委員 熊坂 民子
 - 委員 中山 一之
 - 委員 鈴木 和治
 - 委員 成瀬 清
 - 委員 鳥羽 総一郎
 - 委員 小島 博明
 - 委員 井出 一己
- ※正副委員長は次回の会議で決定します。

所管事項

| | | | |
|---|-------------------|------------------|-------------|
| 2 | 1 | 教育民生常任委員会 | 他の所管に属さない事項 |
| 1 | 民生部 | | |
| 2 | 教育委員会 | | |
| 9 | 水道事業所 | | |
| 8 | 農業委員会 | | |
| 7 | 建設部 | | |
| 6 | 環境経済部 | | |
| 5 | 選挙・監査・固定資産評価審査委員会 | | |
| 4 | 消防本部 | | |
| 3 | 会計課 | 総務建設常任委員会 | |
| 2 | 総務部 | | |
| 1 | 総務部 | | |

会派 議決一覧表

各会派賛否 ○…賛成、●…反対、△…退席

| 議案番号 | 議案の件名 | あいかわ (6人) 成瀬議員 林議員 中山議員 鈴木議員 馬場議員 渡辺議員 | 愛政 (4人) 小倉議員 熊澤議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員 | あすか (2人) 山中議員 小島議員 | 共産 (2人) 井上議員 小林議員 | 民主みらい (2人) 熊坂徹議員 近藤議員 | 公明 (2人) 森川議員 井出議員 | 議決結果 |
|--------------|---|---|--|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|----------------------------|------|
| 議員提出 第5号 | 義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書の提出について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第41号 | 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 町長提出 第42号 | 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 町長提出 第43号 | 愛川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第44号 | 愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第45号 | 平成20年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 認定 |
| 町長提出 第46号 | 平成20年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 認定 |
| 町長提出 第47号 | 平成20年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ● | ○● | ○ | 認定 |
| 町長提出 第48号 | 平成20年度愛川町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 町長提出 第49号 | 平成20年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 町長提出 第50号 | 平成20年度愛川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 町長提出 第51号 | 平成20年度愛川町水道事業会計決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 町長提出 第52号 | 専決処分の承認について（平成21年度愛川町一般会計補正予算（第2号）） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 承認 |
| 町長提出 第53号 | 平成21年度愛川町一般会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 可決 |
| 町長提出 第54号 | 平成21年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第55号 | 平成21年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第56号 | 工事請負契約の締結について（平成21年度幣山下平線第2工区道路改良工事） | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 可決 |
| 町長提出 第57号 | 工事請負契約の締結について（平成21年度公共下水道（汚H30・1）整備工事） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第58号 | 工事請負契約の締結について（平成21年度公共下水道野尻排水区雨水幹線整備工事） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第59号 | 町道路線の廃止について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 町長提出 第60号 | 町道路線の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 陳情 第6号 | 国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 | — | — | — | — | — | — | 机上配付 |
| 陳情 第7号 | 義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める陳情 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 |
| 陳情 第8号 | 「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書 | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | 不採択 |

※陳情第7号・8号については、陳情の原案に対して賛成・反対



一般質問

町長 この指針は、非常勤職員の待遇についてできる限り正規職員に近い処遇とすることを求めているものですが、町としては人事院の考え方に沿った対応を基本的に図っているところです。

正職員に近い処遇 通知に沿った考え

町長 本町では、ゼロベースやシーリング方式も採用し、経常的経費の一部は既に枠配分に近い形をとっているものもあります。現時点では、今の予算編成手法が最良の方法と考えていますが、今後、枠配分のメリットを加味していくことも必要と考えています。

町長 グラウンド跡地の活用について、県は地元住民の要望はもろろんのこと町の考えも十分理解している中で今後、県内部で協議を進めていきたいとのことであり、県の動向を見守っていきたく考えています。

今の方法が最良 研究は継続する

町長 本町では、ゼロベースやシーリング方式も採用し、経常的経費の一部は既に枠配分に近い形をとっているものもあります。現時点では、今の予算編成手法が最良の方法と考えていますが、今後、枠配分のメリットを加味していくことも必要と考えています。

町長 この指針は、非常勤職員の待遇についてできる限り正規職員に近い処遇とすることを求めているものですが、町としては人事院の考え方に沿った対応を基本的に図っているところです。

地元要望は理解 県内部で協議

町長 グラウンド跡地の活用について、県は地元住民の要望はもろろんのこと町の考えも十分理解している中で今後、県内部で協議を進めていきたいとのことであり、県の動向を見守っていきたく考えています。

問

非正規職員の雇用について伺います。人事院の事務総長名で非常勤職員に対する給与についてという通知が出されていますが、町はこれをどのように受けておられるか。

非正規職員の雇用 人事院通知の対応



熊坂 徹議員

問

枠配分方式とは、一定の予算枠を各課に配分し、その範囲内で予算を組み立てる方式です。権限の一部を各課に移譲することで、主体的で効率的な予算の編成・執行が期待できます。そこで、枠配分方式導入の考えについて伺います。

予算編成の方式 枠配分の導入を

問

旧県警平原荘グラウンドを神奈川県から無償で借り、自由広場として活用できるように、県との交渉について伺います。

旧県警グラウンド 自由広場の活用



井上 博明議員

問

水害対策で、原下地区の野尻沢底の改修、梶原製作所から横須賀水道までの野尻水路のかさ上げをするか、水路の幅員を拡張する等の対策が必要であると考えますが、取組みについて伺います。

原下浸水対策 野尻・宮原水路改修



野尻沢水路
＝半原梶原製作所付近

合流点の底下げ等 雨水対策を講じる

町長 野尻雨水幹線と宮原水路の合流点付近の底を下げて、排水断面を増

やすことや、梶原製作所付近から横須賀水道の橋までの水路のかさ上げを行い、雨水の流出や土砂の流入を防止すること、原下の浸水防止対策で、するすみ沢から中津川への雨水が円滑に排除できるように既存のはけ口を大きくし、原下への雨水流入を減少させることなど順次対策を講じていきたいと考えています。

他の質問事項①防災対策
②5歳児健診



愛川東中正門前の交通安全対策

渡辺 基議員

問

本年6月16日正門前の道路で交通事故が発生しました。何度も議会等で取り上げられていますが、町の考えを伺います。

信号機や横断歩道 今後も強く要望

町長 現時点では、県道の横断手段として横断歩道橋があるため、信号機や横断歩道の設置は困難な状況にあります。しかし、小学生の児童が関わる痛ましい交通事故も発生しているため、今後も関係機関に付近への設置を強く要望していきます。

学校支援地域本部事業の考え

問

文部科学省では、地域の教育力の低下や教員一人一人の勤務負担の増加に対応するため、平成20年度から新たに地域ぐるみで学校を支援する「学校支援地域本部事業」をスタートしました。本事業について町の考えを伺います。

現在の連携体制より強固なものに

教育長 現時点では、学

校・家庭・地域との連携がスムーズに行われており、各学校が主体的に家庭・地域の方々の協力を頂きながら実践してきた蓄積があります。従って新たな学校支援組織を改めて立ち上げることよりも、現在ある各学校の連携体制をより強固なものにし、ネットワークを広げていくことが大切であると考えています。

食 他の質問事項①中学校給



ふるさと納税 促進の考え

熊坂 弘久議員

問

ふるさと納税について、本町としてどのように受けとめているか。前年度に本町への納税はあったのか。また、本町へのふるさと納税促進を考えているか伺います。

納税者の思い 通知書等に掲載

町長 寄付金控除として納税者の思いを生かす意義があります。他居住者からの寄付は1件5万円の本町住民で他への寄付は3人、13万円です。納税通知書等のしおりに掲載し啓発する程度です。



三人乗り自転車

三人乗り自転車 購入費と保険料の補助

問

本年7月1日より、幼児2人と3人乗り自転車に補助が認められました。しかし、3人乗用により転倒の可能性も増し、事故のリスクも高まり交通安全の面からこの自転車の利用を推奨することは慎重に検討すべきと考えます。購入費用の補助と事故賠償保険料の補助について伺います。

事故のリスク増 推奨は慎重に検討

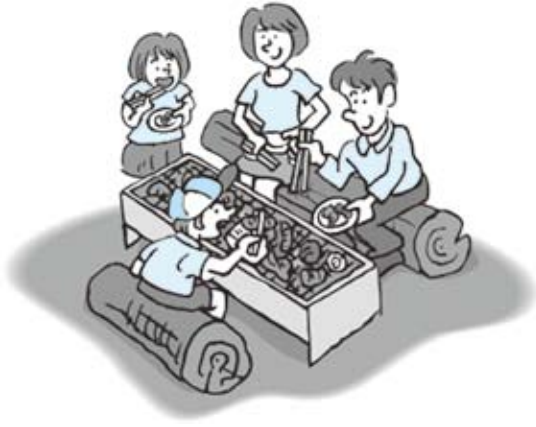
町長 安全基準を満たした当該自転車は6歳未満の幼児2人を乗せること

が認められました。しかし、3人乗用により転倒の可能性も増し、事故のリスクも高まり交通安全の面からこの自転車の利用を推奨することは慎重に検討すべきと考えます。購入費用の補助と事故賠償保険料の補助についても、利用実態や他市町村の動向も踏まえ研究していきます。

他の質問事項①AEDについて

町長 さまごまな課題も
ありますので、観光商業
の活性化につながる観点
から、愛甲商工会や町観
光協会、地元商業関係団
体とも連携して、有効な
観光振興方策について研
究したいと考えています。

**商工業の活性化
関係団体との連携**



問 中津川へはコー
ルデンウィークか
ら夏にかけて多くの観光
客が訪れましたが、そ
の結果、残されたのは
ごみの山でした。河川
遊客を観光事業として
考えられないか。

**中津川の河川遊客
観光振興の方策**



馬場 司議員

地元中小企業に対する支援

問 未だ景気低迷の
続く中、今日まで
町を支えてきた地元中
小企業に対する支援の
考えを伺います。

**融資制度等の拡充
利便性向上を図る**

町長 金融面については
利便性の向上を図るため
中小企業事業資金融資条
例を改正し、融資額の拡
大や償還期間の延長を実

施しました。また、国・
県・町の融資制度を利用
した中小企業に対する商
工振興利子補給制度や信
用保証料補助制度も予算
を増額し支援に努めてい
ます。さらに、愛甲商工
会発行のふれあい商品券
に対する補助も、地元企
業の売上げ拡大に役立つ
ものと考えます。
他の質問事項①愛川北部
病院②職員のコンプライ
アンス③災害対策

**工業団地企業へ
税軽減の見直し**



鈴木 一之議員

問 内陸工業団地へ
の企業誘致方策の一
つである固定資産税
等の軽減措置に関し、
見直しの考えについて
伺います。

**条例は22年度まで
制度の見直し研究**

町長 固定資産税等の軽
減措置を規定している町
企業誘致条例については
平成22年度までの時限条
例でありますので、利用
実績や経済動向、他の自
治体の取り組み状況など
を勘案しながら研究して
いきます。



火災等災害時には拠点となる消防庁舎

**大規模火災
長時間体制の対応と教訓**

問 7月に発生した
内陸工業団地内の
火災では、今までに例
がないほどの、長時間
体制で消火活動が行わ
れました。この火災へ
の対応と教訓について
伺います。

**特命出動指令
消防活動の充実**

町長 全消防職員及び町
消防団の全分団・部が出
動する特命出動指令をか
け、また厚木市、相模原

市のはしご車など応援出
動も要請し、全力を挙げ
防御活動を行いました。
主な教訓は、正確迅速
な情報収集による指揮機
能の充実、消防団部隊の
効果ある放水体制の確
保、安全管理を徹底し、
事故防止に努めることで
す。この教訓を受け、研修
や訓練、防火指導により
火災予防の推進と消防活
動の充実に努めています。
他の質問事項①法人町民
税



介護サービス 利用しない理由

小林 敬子議員

問 要介護認定されてもサービスを利用しない人がいますが、その理由についての認識を伺います。

家族介護など 事情はそれぞれ

町長 今は家族が介護しているため必要がない方、入院中で退院後に備えてという方、介護保険サービスの住宅改修や福祉用具を購入するため認定を受けたが他のサービスはまだ必要ない方、将来の不安から認定だけを受けた方等がいられるものと認識しています。

農業振興

本町に合った計画を

問 遊休農地の問題から愛川の農業の

将来を考えると、一番必要なのは、どういう方向で農業を捉え、進めていくかという指針ではないかと思えます。愛川にふさわしい農業の計画を作るべきと考えますが、町長の意見を伺います。

荒廃地の増加 後継者不足が課題

町長 農業振興計画はあ

ります。それに基づいて

農業振興の専門である農協さんとタイアップして進めているが、最近荒廃地の荒廃地が多くなってきた。やはり後継者が育っていないことが一番大きな問題です。

従って、いかに後継者を育成し、少しでも利益を上げられる農業経営ができるかが一番大きな課題であると考えます。他の質問事項①アドプト制度



有効利用が望まれる休耕地



半原久保地区 雨水対策について

小島総一郎議員

問 昨年8月に続き今年も浸水被害が起きています。今後の対応について伺います。

できる限り早期に 可能なところから

町長 するすみ沢雨水幹線の流末はけ口を増径し、また、町道久保・市之田線上流からの雨水排除を行うため、町道に雨水幹線を布設して、するすみ沢雨水幹線に流入を図るなど、できる限り早期に具体的な計画をまとめ、可能なところから順次対策を講じていきます。



県道54号(相模原・愛川線)金山橋前
＝半原原白地内

川北桜沢の雨水・污水対策

問 川北桜沢の上流は相模原市であり、雨水・污水対策は、両市町の連携が重要で

す。現在の対応と、河川への警報装置の設置や民間気象会社との連携の考えについて伺います。

ゲリラ豪雨 早めの避難対応策

町長 川北桜沢の雨水対策は、時間50ミリを超えような降雨が予想される場合は、災害パトロー

ル計画に基づき、情報収集や情報提供を行っています。污水対策については、今後の調査により相模原市の担当課と連携を図って、対策を検討したいと考えます。

消防長 桜沢は、河川で人が遊ぶ所ではないため県に警報装置設置の考えはないと聞いています。民間気象会社との連携は今後、研究したいと考えています。

他の質問事項①温暖化防止

町長 町では省エネ効果の高いコンパクト型蛍光灯への切替えを進めており、モデル地区の設置は、考えていません。

20Wから40Wへレベルアップが先

問 商店街や住宅街だけでなく、自転車盗難の犯罪を防ぐため駐輪場、また飛び込み自殺防止の目的で駅のホームに青色防犯灯を設置し、大きな効果が立証されています。本町もモデル地区の設定等、青色防犯灯導入の考えについて伺います。



LED青色防犯灯導入の考え

近藤 幸子議員



中津地区にある防犯灯

教育長 低学年を優先する
基準点数表により審査を行い決定

問 本町には、放課後児童クラブ入所審査基準点数表が存在しますが、何を基準として入所審査における点数を設定しているのか。また、障がい児の受入れに際し、特別支援(養護)学校に通学している児童の受入れの考えについて伺います。

放課後児童クラブ入所基準と障がい児受入

ることとし、これに1人親家庭などの家庭環境、就労の形態や疾病の状況により加点します。一方欠席予定日数が週3日以上、保護者の帰宅時間が早い、週2日以内の就労等の状況によっては、減点することとしています。特別支援学校に通学している児童の受入れには、体制整備も必要なので、今後の研究課題とします。

他の質問事項なし
めていきます。

問 家庭用太陽光発電設備に対する助成制度の内容と実績について伺います。



太陽光発電家庭への助成制度

鳥羽 清議員



太陽光発電装置の設置された家屋

町長 本年度から県の補助金と合わせて1kw当たり6万円、上限で19万5千円の補助です。平成18年度の実績は30件で、補助金額は299万1千円、平成19年度は26件、251万7千円、平成20年度は27件、269万4千円です。今後制度の周知に努

町長 建物の外観調査等により判断する一般診断に対する補助と耐震改修に対する補助を行っております。補助率は、どちらも費用の2分の1ですが補助限度額は耐震診断で

木造住宅の耐震化について

問 木造住宅の耐震化について、補助制度と耐震化工事の実績について伺います。

一般耐震診断と耐震改修に補助

4万円、耐震改修の場合50万円です。実績として、耐震診断は簡易診断で平成17年度3件、平成18年度1件で一般診断は平成19年度1件、平成20年度2件です。耐震改修は、平成20年度1件です。

今後制度のPRに努め意識啓発と知識の普及を推進したいと考えます。他の質問事項①ごみ減量化②人口増加対策

新型インフル 第2波への対策



山中 正樹議員

問 WHOは世界的大流行を宣言しました。対策の進捗状況と子供達への感染について伺います。

うがい手洗い周知 小学児童A型2名

町長 大規模な流行が危惧される学校等の集団発生の把握に努めてきました。8月の爆発的な感染拡大を受け、うがい・手洗い等の感染予防対策の周知を引き続き行います。
教育次長 9月3日現在小学校2校でA型と診断された児童が各1名、両名とも自宅療養中です。



特別養護老人ホーム 新たな施設建設の考え

問 町民意向調査では、今後力を入れるべき政策は健康が1位、生活福祉が5位です。高齢者介護の現場では、施設介護を望む方が多い中、新たな高齢者施設の建設についての考えを伺います。

町長 介護保険事業計画では、平成23年度にシヨートステイ10人を含

100人規模 田代に建設を計画

む100人が入所できる特別養護老人ホームの整備を清川村と共同で計画しました。これに基づき、田代の方から施設建設の申し出があり、8月中旬、町と村を經由して、整備協議書が県に提出されました。町では、この施設建設を促進していきたいと考えています。

他の質問事項①人口フレーム②国に対する町の対応

2定任委員会 8月所管事務調査

※所管事務調査とは、常任委員会が自主的にその所管する事務を取り上げ、積極的に調査を行なうことができる特別な権限です。

今回は平成20年度事業の決算審査の補完的な位置付けとして、現地調査を実施しました。

総務建設常任委員会

【調査日】

8月24日(月) 午前9時

【調査箇所及び内容】

- ①角田1151号線
：新設改良工事・延長235m(文化会館)県道相模原愛川線
- ②三増102号線
：災害予防工事(法面工・排水工等)・延長90.5m(愛川中学校坂上)
- ③番田沢排水区雨水幹線
：整備工事(開削工)・延長169m
- ④両向橋送水管

：改修工事(管路更正工等)・延長154.36m

⑤半原処理分区面整備

：整備工事(開削・推進工)・延長1558.6m(半原川北横根地内)

⑥田代運動公園野球場

：スコアボード改修工事(電磁反転式得点板)

⑦諏訪住宅児童遊園地

：ブランコ安全柵撤去・設置、滑り台設置工事

⑧中津228号線

：歩道整備工事・延長250m(内陸工場団地内)

⑨尾山中央水路

：整備工事・延長145m(中津尾内地内)

⑩広域獣害防止電気柵

：設置工事・延長500m・高さ2m(中津尾山地内)

教育民生常任委員会

【調査日】

8月17日(月) 午前9時

【調査箇所及び内容】

①保育所施設維持管理費

：高峰保育園エアコン設置工事他2件

②小学校トイレ改造事業費

：高峰小学校トイレ改造工事

③交通安全施設整備事業費

：半原・原白橋交差点路面カラー舗装工事

④学校施設整備事業費

：愛川中学校スプリングラー設置工事

⑤学校施設整備事業費

：田代小学校プール改修工事

⑥田代運動公園施設整備事業費

：プールウォータースライダー塗装工事他1件

⑦保育所施設維持管理経費

：田代保育園エアコン設置工事他1件

⑧公園施設維持管理経費

：第1号公園プールサイド改修工事

義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善
計画早期策定を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠であり、現行教育制度の根幹をなしています。

この義務教育費国庫負担制度を縮小・廃止することは、地方財政を圧迫し、義務教育水準の確保・教育の機会均等に影響を及ぼすことが危惧されます。

また、少人数学習や少人数学級などの実施は、時代のニーズに応え、子供たち一人ひとりの課題に応じたきめ細かな指導につながることから、次期教職員定数改善計画の早期策定をはじめ、教職員配置のさらなる充実が必要です。

よって、国におかれては、次の事項について実現されるよう強く要望します。

- 1 義務教育制度の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続させること。特に学校事務職員・加配教員をその対象から外さないこと。また、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 2 次期教職員定数改善計画を早期に策定し、少人数学習、学級規模の弾力化・縮小などを推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年9月24日

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会
議長 中山民子

◎義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書

議員提出議案として提出され、審議の結果、原案のとおり可決し、次の

(賛成全員) とおり意見書を関係行政庁に送付しました。

議員提出議案

義務教育費国庫負担制度存続、 教職員定数改善に関する意見書

陳情の審査結果

今回の定例会で結論（9月24日）の出た陳情は次のとおりです。

(敬称略)

| 件名 | 結論 | 陳情者 |
|--|---------------------|--|
| 陳情第6号 国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 | 机上配付 | 横浜市中区桜木町3-9 神奈川私学助成をすすめる会 陳情代表者 長谷川 正利 |
| 陳情第7号 義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める陳情 | 採択 (賛成全員) | 神奈川県相模原市富士見6丁目6番13号 湘北教職員組合 執行委員長 平野 知彦 |
| 陳情第8号 「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書 | 不採択 (賛成4人・反対13人) | 横浜市神奈川区金港町5-36 東興ビル2階 神奈川県保険医協会 歯科部会長 馬場 一郎 |

※賛成・反対については、陳情原案に対する賛否

請願・陳情のゆぐえ

会 派 代 表 総 括 質 疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

あいかわクラブ

(成瀬 和治議員)

成瀬議員⇨平成20年度一般会計歳入歳出決算における款ごとの主な事業の評価について

山田町長⇨歳入については、昨年後半からの急激な景気後退により、法人町民税が減収となりましたが、町が自ら収入することができると自主財源の構成比は79.4%で、引き続き高い比率を維持することができ、行政運営の自主性と安定性が確保されているものと認識をしています。

歳出については、款2総務費では、安全安心まちづくり事業の充実や町内循環バスの再編、町税等コンビニ収納の導入の推進に努めたところです。次に、款3民生費では、小児医療費、ひとり親家庭等医療費助成事業の拡大、子育て支援おむつ支給事業など、子育て支援施策の積極的な展開を図りました。次に、款

4衛生費では各種の母子健康診査や予防接種事業、生活習慣病予防事業を始め平成20年度から新たにこんにちは赤ちゃん事業を実施したところで

す。次に、款5農林水産業費では、各種農業振興対策や林業振興事業、農道、農業用排水路整備を実施したほか、有害鳥獣対策事業として、猿の移動監視や獣害防止電気柵の設置に意を注いだところです。次に、款6商工業費では、商工業の振興や勤労者支援のための各種事業や制度資金の融資を行いました。次に、款7

土木費では、幣山下平線整備事業の第1工区と第3工区の改良工事を進めるとともに、第2工区の工事に着手し、平成22年度末の完成に向け、事業の進展を図ったところです。次に、款8消防費では、消防署半原分署の規格救急車の更新を始

め、全国瞬時警報システムを町防災行政無線に接続し、災害時などの情報伝達手段の充実を図りました。次に、款9教育費では、平成19・20年度の継続事業で実施しました郷土資料館建設事業を進めたほか、小中学校の校舎外壁、トイレ、プールなど

愛政クラブ

(熊澤 俊治議員)

熊澤議員⇨人件費が前年度に対して0.3%の減ということですが、その要因について

山田町長⇨要因については、町では定員適正化計画に基づき平成19年度に411名だった職員数を

削減するため、事務の合理化などを図り、平成19年度中の退職者14名に対し、平成20年度採用者を9名とし、5名の削減を行いました。このため、5名分の人件費が削減されたことと、9名の職員が新採用職員に入れかわったこと、また国民健康保険特別会計事業の充

の改修事業や校庭スプリングラー及び防火シャッター安全装置の設置工事を実施し、教育環境の整備、充実を図りました。他の質疑事項①平成20年度予算に計上された各事業で行わなかった事業、先送りにした事業につい

て 実を図るため、平成20年度中に1名の職員を一般会計から異動させたこと、さらには育児休業者の変動などにより一般会計全体で約8千万円が減額となりました。

また、平成19年度には 県知事・県議会議員選挙 参議院通常選挙、農業委員会委員選挙、町議会議員選挙の4本の選挙がありました。平成20年度は選挙がなかったため、これに係る経費として、職員手当及び報酬が約1千500万円の減額となり、一般会計全体で約9千500万円が減額と

なっています。

熊澤議員⇨国民健康保険特別会計の収入未済額の中で、高額上位10位の金額について

山田町長⇨収入未済額の中で高額上位の金額については、分納中の方も含め、100万円以上の滞納者が121人あり、そのうち最も高額な方は293万4千円以下、2番目が276万7千343円、3番目が268万800円、4番目が256万8千400円、5番目が242万7千800円、6番目が241万2千600円、7番目が240万9千300円、8番目が217万4千300円、9番目が205万1千600円、10番目が201万8千500円 となっています。

他の質疑事項①H20年度決算の総括と評価②下水道会計欠損額と収入未済額の要因と滞納者に対する対応

あすか

(山中 正樹議員)

山中議員⇨財産収入が前年度比83.2%の減となつている要因について
山田町長⇨財産収入の減少要因は、平成19年度は3年に一度交付される佐久間幹線の線下補償が3千150万9千円あつたことや、このほかにも道路敷等の土地売り払い収入が多かつたことから、前年比5千526万円、率にして83.2%の減となつたものです。



このため政府では、所

はじめました。
被保険者に大きな混乱が生じました。

山中議員⇨後期高齢者医療特別会計について、新しい特別会計として初の決算を集計された感想と評価について
山田町長⇨平成20年度は制度の初年度であり、また制度内容の周知不足なども重なり、特に年度当初においては、町にも多くの相談者や電話での問い合わせなどが相次ぎ、

得の少ない方に対する保険料のさらなる軽減対策や、保険料の年金天引きと口座振替の選択制の導入など、年度途中において、被保険者である高齢者への配慮として、制度の改正がされました。
また、保険料の収納については、全国の平均が98.75%、神奈川県平均が98.76%に対し、本町は99.02%と高い収納率となりました。
評価については、後期高齢者医療制度の本町の役割分担としての保険料徴収と窓口対応について円滑な事務の執行ができたものと考えています。
他の質疑事項①依存財源②自主財源③財政状況④老人保健特別会計⑤介護保険特別会計

共産党

(小林 敬子議員)

小林議員⇨町税における自主財源の確保と収納率向上について、20年度の取り組みの成果と課題について
山田町長⇨取り組みの成果であります。総務部の課長を動員し、年末の仕事納め以降の2日間

に実施いたしました臨宅の滞納整理と、あわせて開設した特別休日納税窓口での収納額と件数の実績では、臨宅の滞納整理が78件、77万3千円で、特別休日納税窓口が106件、200万8千円、全体では278万1千円となりました。
次に、取り組みでの課題については、21年度からコンビニエンスストアの飛躍的な整備が図られることから、休日納税窓口の開設のあり方の検討
収納担当職員の滞納処分に関する専門的技術の向上、滞納額縮減を図るた

めの新たな徴収方策に関する研究などが課題です。
小林議員⇨学校図書館の蔵書活用状況、人的配置など、20年度の成果と課題について
熊坂教育長⇨まず成果に

ついては、学校図書蔵書が増え、各学校それぞれが独自性を生かした読書活動に盛んに取り組んでいることです。また、学校図書館の活用状況については、各学校それぞれが児童生徒の実態や学校の特色を生かしながら読書活動を充実させ、読書習慣の形成を図っているとあります。
人的配置については、学校図書館指導員3名が中学校区の3校を担当し、大幅に増えた蔵書の配架、管理等、学校図書館の充実が努めています。
課題については、学習指導要領の改定に伴い今後、総合的な学習の時間に位置づけて、朝読書を

行うことが難しくなつたこと、図書館指導員3名の連携をより深める必要があることなどが挙げら

民主みらい

(近藤 幸子議員)

近藤議員⇨平成20年度における格差の現状と町としての対応について
山田町長⇨現状については、市町村課税状況等の調べでは、平成20年中の個人住民税納税義務者の課税標準所得は、全体的に少しずつではありますが、低くなつてきている状況です。特に景気が悪化しました昨年秋以降の所得

状況については、現時点では把握できませんが、これまで以上に厳しい経済情勢の中、格差の問題とあわせて、低所得者への配慮は必要と考えています。これまで町では要保護・準要保護児童就学援助費の基準緩和、子育て支援紙おむつ支給事業、子育て世帯家賃助成事業、高齢者バス割引乗車券「かなちゃん手形」

れまふ。
他の質疑事項①青少年育成費②教育指導費③環境衛生費

購入助成、平成20年度からは小児医療費助成を小学校4年生まで拡大したほか、ひとり親家庭など医療費助成事業を行うなどの施策の充実を図っています。今後も低所得者のみならず、町民皆さんに対する町独自の施策の充実などに努めていきたいと考えます。
近藤議員⇨20年度における障害者雇用の取り組みと成果について
山田町長⇨町では、町内事業所が障害者を雇用した場合に雇用奨励金を交付し、障害者の雇用の場の確保に努めています。
町の障害者雇用奨励補助金制度は、町内中小企業が身体障害、精神障害、知的障害のある町民を1年以上雇用し、障害者法定雇用率を達成している

場合に補助金を交付して
います。制度の対象とな
る町内中小企業について
は、神奈川労働局を通じ
て当該企業を確認してい
ますが、従業員56人未満
の企業は、労働局への障
害者雇用状況の報告義務
がないため、把握ができ
ませんので、町広報、チ
ラシなどにより、広く制

公明党

(井出 一己議員)

井出議員「防犯対策の強
化における平成20年度の
取り組みの成果と課題へ
の対応について
山田町長「防犯対策とし
て、不審者や変質者から
新入学児童を守るため、
防犯ブザーや意識啓発の
ための防犯下敷きの配
付、防災行政情報メール
のシステムを活用し、不
審者情報メールの発信を
20年8月から開始したこ
と、防犯灯維持管理及び
整備事業費については、
20ワットから40ワットへ
のレベルアップを19基実
施するとともに、地域か

度の周知を行っています。
こうしたことから、平成
20年度は、補助対象企業
が平成19年度の2社から
5社に増加し、補助対象
者も2名から5名に増え
ています。
他の質疑事項①企業誘致
②ごみ減量化・再資源化
③農業振興

組んでいきたいと考えま
す。
井出議員「介護保険特別
会計における不納欠損処分
の理由と収入未済額の状
況について
山田町長「不納欠損額の
すべてが介護保険法第2
00条第1項に基づくと時
効消滅となっています。
平成20年度の保険料の不
納欠損額は226万9千
548円であり、対象者
は96人でした。
不納欠損処分の理由に
ついては、自己破産、会



社倒産、家族からの支援
が受けられないなど、負
担能力のない方、死亡な
どによる資格喪失、居所
不明などが主な理由です。
収入未済額については
平成18年度は659万1
千313円、平成19年度
は771万2千571円
平成20年度は864万1
34円となっています。
他の質疑事項①実質収支
比率②特別会計への繰り
出し③定額給付金・子育
て応援特別手当他④国民
健康保険特別会計

論

討

反対

民主みらい

熊坂 徹議員

民主みらいを代表し、
平成20年度一般会計決算
について、反対の立場か
ら討論します。実質単年
度収支は5億1千万円の
赤字になりました。早急
に、中期財政見通しや10
年先を展望した本格的な
財政計画の策定に着手す
べきです。決算全体を見
て、格差と貧困の問題に
対する認識が欠如してい
ます。本町は海老名市と
比べて、300万円以下
の給与所得者の割合が10
%も多く低所得者や生活
困窮者に対する行政の支
援が望まれます。豊かだ
といわれる本町の財政力
が格差・貧困問題に活か
されていません。「清潔・
誠実・公正」が山田町長
のモットーと聞きます。
格差・貧困問題について
も本町の現状・実態をよ
く認識され、「誠実・公正」
に対応されたい。

活発な意見

賛成

あいかわクラブ

渡辺 基議員

あいかわクラブを代表し賛成の立場で討論します。

本町の財政健全化法に基づき健全化判断比率はすべての項目について健全化が保たれていますが引き続き健全な行財政運営に努力をお願いします。コンビニエンスストア収納システムは、コンビニエンスストアで納税ができ、町民の利便性が向上することであり、高く評価します。公債費は借金の返済であり、平成9年度末の町債現在高90億円に対し、平成20年度末現在高が64億8千万円まで減少しており、過大な財政運営に陥ることなく推移しています。今後とも収支のバランスに配慮し、的確な運営をお願いし、評価いたします。

賛成

愛政クラブ

小倉英嗣議員

愛政クラブを代表し、本定例会に提出された全議案に対し賛成の立場から討論します。

司法書士、弁護士による法律相談は、高く評価します。今後も積極的な取り組みをお願いします。キャリア教育推進事業については、451名の生徒が5日間の職場体験を通して得た貴重な体験は、今後の進路に向けての大きな効果が期待できます。事業が評価され、文部科学大臣賞に輝いたこと、高く評価します。水道事業会計では、戸倉浄水場近くを流れている都市配水路等を活用した小水力発電や太陽光発電設備を設置し、電力料金の軽減を図るよう積極的な推進をお願いします。

賛成

あすか

小島総一郎議員

会派あすかを代表し、賛成の立場で討論します。

行政改革の取り組みについては、第4次改定版の策定と事務事業評価14件の外部評価の導入試行などが行われ、一定の成果が上がったものと思いますが、行政評価制度の完全実施に向けて、さらなる努力をお願いします。子育て支援の取り組みとして、ファミリーサポートセンターが開設されました。利用者は、まだ少ないようですが、評価をするものです。消防費では、半原分署の高規格救急車が更新され、地域住民の安全・安心の向上と救急救命活動の充実に期待をします。

賛成

共産党

小林敬子議員

日本共産党を代表し、提案された議案について賛成の討論をします。

平成20年度の施政方針である子育て支援と医療防災の分野に重点配分した積極型予算という部分では、評価に値します。乳幼児医療費無料化が小学校4年生まで拡大したことは、多くの保護者から歓迎されています。今後は、6年生までの拡大を早急に求めたいと思います。また、母子・父子家庭の医療費助成について、県では一部負担金を導入していますが、本町では引き続き導入していないことは評価します。

賛成

公明党

森川絹枝議員

公明党を代表し、賛成の立場から討論します。

防犯・防災対策では、防犯灯の整備、レベルアップの実施のほか、防犯灯や道路照明灯の電気を年間一括払いの導入により経費の節減に努めています。福祉分野の子育て支援対策は、子育て支援センターの運営や小児医療費の助成事業を始め、紙おむつの支給事業、一時保育事業の拡大など、子育て世帯の負担を軽減するための施策を展開していることを高く評価します。介護保険会計では、滞納額が増えています。特に介護保険料は2年で不納欠損となってしまうことから、実態把握をしながら徴収業務に一層のご努力をお願いします。

町民の声

「議会を傍聴してみて」



小須田加奈子 さん
(春日台在住)

先日、町議会を傍聴しました。議員が質問して、町長や職員が質問に答えていました。

議会の時には議員全員が質問すると思っていましたが、質問できるのは前もって通告した人だけだそうです。せっかく町民から支持を受けて当選されたのですから、全員が質問して活気のある議会にしてほしいと思います。

近くの席に明るい選挙推進委員の方がいらっしやいました。都合のつく時は出来るだけ議会を傍聴するようにしているのですが、時々、居眠りしている議員さんの姿を見かけることもあるそうです。私のときは町側の職員でしたが、一人でも多くの人が議会を傍聴してくれた方が、活気があつて、議員も町の職員も頑張ろうって元気が出

ると思いました。

昨年、私は自治会の組長と美化指導員をやりました。町での会合のとき、ごみに関する意見が色々出されました。役員から「ごみの分別化は未だですか？」との質問に対し、町は「検討します」とのことでした。これは是非、やってもらいたいです。この町に住んでいてよかったと思えるようになったら良いですね。

編集後記

町の景色もすっかり冬色に染まり、年の瀬が目の前に迫ってまいりました。

町議会では、役職の任期満了に伴い、新体制による議会活動が始まりました。

議会だよりも次回から、新しい編集委員会によってお届けします。

議会と町民の皆さんとが共に町づくりを考え、前進することが大切です。そのためにも、ぜひ、議会の傍聴にお越しください。

議会だより編集委員会

- 委員長 馬場 司
- 副委員長 近藤 幸子
- 委員 渡辺 基
- 委員 熊坂 弘久
- 委員 井出 一己
- 委員 成瀬 和治
- 委員 小島総一郎
- 委員 鳥羽 清
- 委員 小林 敬子

12月定例会

12月定例会は下表のとおりです。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

なお、本号は、9月定例会及び11月第2回臨時会の内容を掲載したため

平成21年第4回定例会日程

| 月 | 日 | 曜 | 会 議 名 |
|----|----|---|------------------|
| 12 | 1 | 火 | 本会議 (提出議案の説明) |
| | 3 | 木 | 本会議 (一般質問) |
| | 4 | 金 | 本会議 (一般質問) |
| | 8 | 火 | 教育民生常任委員会 |
| | 9 | 水 | 総務建設常任委員会 |
| | 15 | 火 | 本会議 (総括質疑・討論・採決) |
| | 16 | 水 | 予備日 |

12月15日の発行となりました。

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、9月定例会の会議録は、12月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボ

ランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。

(内線3792)